読書の家から

あぶた読書の家　（☎76-2100）
［時間］10時～16時30分　［休館日］木曜日、祝日
みずうみ読書の家（☎76-2100〈あぶた読書の家〉）
［時間］9時～17時　［休館日］木曜日、祝日
洞爺総合センター図書室（☎82-5111）
［時間］9時～16時30分　［休館日］なし

今月の1冊

みんなが知りたい!! 北極・南極のひみつ
メイツ出版
「北極」と「南極」はそれぞれが地球の端っこに位置しており、それぞれに独自の特徴がある。その北極と南極について知ることは、地球について知ることにもつながる。世界や環境など、未来を考えるきっかけになる本。（あぶた読書の家所蔵）

新刊案内

■あぶた読書の家
＜一　般＞▽ラウリ・クークスを探して（宮内悠介）▽ヴァンドッグは叫ばない（市川憂人）▽夢よ、夢 柳橋の桜（四）（佐伯泰英）▽雨露（梶よう子）▽マリスアングル（誉田哲也）▽スピノザの診察室（夏川草介）▽邂逅の滝（遠田潤子）▽交渉人・遠野麻衣子 ゼロ（五十嵐貴久）▽悪逆（黒川博行）▽剣、花に殉ず（木下昌）
＜児童書＞▽ぬまの100かいだてのいえ（いわいとしお）▽きまぐれレストラン（宮野聡子）▽れいとうこのそこのおく（うえだしげこ）▽れいぞうこのすぐとなりチン！するレンジはレストラン？（うえだしげこ）▽ゆめいろさがせブック（たけいみき）▽星空としょかんへようこそ（小手鞠るい）

■洞爺総合センター図書室
＜一　般＞▽なるようになる。僕はこんなふうに生きてきた（養老孟子）▽黒い絵（原田マハ）▽ガウディさんとドラゴンの街（パウ・エストラダ）▽ヒグマは見ている 道新クマ担記者が追う（内山岳志）▽奥州狼狩奉公始末（東圭一）▽子ども自炊レッスン 小学生から身につく、一生ものの料理（山口祐加）
＜児童書＞▽ノラネコぐんだん おばけのやま（工藤ノリコ）▽ノラネコぐんだん カレーライス（工藤ノリコ）▽ノラネコぐんだん ケーキをたべる（工藤ノリコ）▽パンダのおさじと フライパンダ（柴田ケイコ）▽はるさんと1000本のさくら（ただのぶこ）

絵本の玉手箱　3月のおはなし会
■日　時　①3月11日(月)、25日(月)10時～11時30分②3月15日(金)14時～15時30分
■場　所　①あぶた母と子の館②あぶた読書の家
キッズタイム
■日　時　3月16日(土)10時～11時30分
■場　所　あぶた母と子の館
■問合せ　佐藤（☎76－2487）
ピノキオの会読み聞かせ
■日　時　3月11日(月)13時30分～14時30分
■場　所　あぶた読書の家
■問合せ　松本（☎76－2613）

地域おこし協力隊通信 vol.70

今月のリポーター 折原英明さん

地域おこし協力隊の折原です。このたび3年間の任期満了に伴い、3月末をもちまして協力隊を卒業します。

2021年4月に洞爺湖町へ移住し商工会へ着任しました。まさにコロナ禍真っ只中で、商工会業務も、商品券事業やコロナウイルスワクチンの集団接種実施などコロナ対策が中心でした。洞爺湖クライミングクラブの活動も外出制限による長期休止があり、思うように活動できませんでした。その中でも、町内事業者へ取材に行き、観光情報などの情報発信を通して洞爺湖町を知ってもらう活動はできたと思います。

2022年以降はコロナウイルスの影響も減り、観光客の増加やお祭りなどイベントも復活したことで活動の幅や機会も増えました。自身の活動としても、2022年5月にとうや水の駅内で「とうや水の駅食堂TSUDOU」の立ち上げ・運営に携わることができました。

今後もこの町で暮らしながら、「町民として「地域おこし」に繋がるように私自身ができること、やるべきことをやっていきます。また、協力隊活動を通して繋がった周辺地域の協力隊の皆さんとも、様々な協業を模索し洞爺湖町のみならず西胆振を盛り上げたいと思っています。

最後になりますが、町民の皆さんや町内事業者の皆さんには大変お世話になりました。3年間本当にありがとうございました。